

香川県立多度津高等学校 100 周年記念行事

あずまや建設プロジェクト

(令和元年：秋号) プロジェクトスタート

はじめに

多度津高校は令和 3 年に創立 100 周年を迎えます。それに向け多度津高校では建築科を中心として小屋（東屋）を建設する計画を立てました。そこで「包括的連携・協力に関する協定」を結んでいる多度津町に相談したところ、造成中の公園がある事を知り、小屋（東屋）の建設が可能となりました。

この「あずまや建設プロジェクト」は官・民・学の連携で成り立ち、高校生の学習の場となります。また竣工後は多度津町へ寄贈され、地域の皆さんの憩いの場となり活用されます。

内 容

多度津町の公園に東屋を建設する計画です。現在、県道開通に伴う池の埋め立てが行われ、防災公園として造成が進んでいるところです。建設は生徒の学習を第一に考え、官・民・学の連携で行われます。

【行程計画（案）】

令和 2 年 7 月～10 月 確認申請、事前準備

令和 2 年 10 月～12 月 地鎮祭、基礎工事

令和 2 年 12 月～令和 3 年 2 月 建方工事、上棟式

令和 3 年 2 月～3 月 屋根工事

○官：多度津町

○民：(株)菅組、(株)山倉建設、香川県生コンクリート工業組合、武田建設(株)、喜田木材(株)、(株)請川窯業、(株)川上板金工業所

○学：香川県立多度津高等学校（6 科連携）

目標および展望

生徒の現場実習としての学習活動のほか、出前授業や工場見学も交えながら進めていきます。また地域貢献についても考え、地域・企業との交流や喜びを感じる取り組みを実践していきます。

事業は来年度も継続しますが、竣工は多度津高校 100 周年記念式典に合わせ、令和 3 年 11 月の予定です。その後は多度津町へ寄贈し、地域の皆さんの憩いの場となることを期待しています。

プロジェクトの重点 5 項目

【連携事業】

この事業は多度津町と多度津高校の「包括的連携・協力に関する協定」から実施を進めています。また実務的な内容が多いため、民間企業にも協力をお願いし、官・民・学の連携を考えています。さらに多度津高校内の 6 科（機械科・電気科・土木科・建築科・海洋技術科・海洋生産科）のコラボレーションも含め、協力体制を整えています。地域連携による多度津町の魅力向上につながる企画です。

【教育・学習】

学校で学んでいる勉強は実社会の仕事とは少し離れているように感じます。今回の事業はインターンシップなどと同じような体験ができ、就職に直結する内容となります。また体験することは「ものづくり」の楽しさを知ることになり、離職率の低下にもつながります。

確認申請から竣工検査までの一連の流れを経験できるため、生徒だけでなく教員も勉強になり、今後の指導に生かすことのできる内容です。

【地域貢献・交流】

新公園は地元の要望から実現したと聞いています。地域の皆さんとも交流し、これからの公園のあり方も提案し、憩いの場となることを期待しています。また、企業の方との交流を通じて、現場での打合せや施工方法などを知り、学校では得られない喜びを感じたいと思います。竣工後は多度津町への寄贈を考えています。

【古民家活用】

多度津高校 建築科では「古民家プロジェクト」を数年前から展開しています。内容は古民家の再生から活用、また、古材を生かした取り組みです。今回の「あずまや建設プロジェクト」も一部に古材を再利用し、長年使われてきた風合いを感じることができます。

【記念行事】

多度津高校は令和 3 年度に創立 100 周年を迎えます。これを契機に、形に残るものを建設しようと計画しました。実践的な取り組みであり、現在関わっている生徒は、近くを通るたびに思い出すこととなります。そして、多度津町外で暮らしても、戻ってくる思い出の場所となります。

多度津町や多度津高校とともに歴史の歩みを刻む場所となります。